

訪看新聞

2019年 10月号

担当：グレース訪問看護ステーション 川越



🎃Happy Halloween🎃

10月31日はハロウィンです。

ここ数年、やたら盛り上がってきたハロウィン。ハロウィンといえば、カボチャのお化けや飾りなどが思い浮かびますが、なぜハロウィンではカボチャを使うのでしょうか？

ハロウィンはヨーロッパのケルト民族の収穫祭が起源とされています。古代ケルト人の習わしでは11月1日が新しい年の始まりで、その前夜の10月31日（大晦日）は収穫祭で、秋の収穫を祝うお祭りであると同時に死者の魂が戻ってくる日でもありました。この時に、身内や親しかった人の魂だけでなく悪霊たちも一緒にやってくると考えられており、うろつく悪霊から子どもや作物・家畜などを守るために、魔除けの提灯（ジャック・オー・ランタン）を使いました。当時ケルト人はカボチャではなく「かぶ」を使っていましたが、それが後にヨーロッパからアメリカに移民した人たちによって、収穫量の多いカボチャで作られるようになったということです。アメリカで広がったハロウィンのカボチャは、キリスト教の拡がりと共に世界に知られるようになりました。

ちなみに日本では、1970年代に初めて、原宿のキディランドがハロウィン関連商品の販売を開始、後に、東京ディズニーランドやユニバーサルスタジオジャパンがハロウィンのパレードを行ったことから10月のイベントとして広がっていったようです。楽しいHalloweenを・・・🎃🎃🎃

【神無月】

旧暦の10月、各地の神様が出雲に集まり、天気や農作物についてのほか縁結びについて話し合うのだとか。縁結びは恋愛だけではなく、良縁や人間関係なども縁結びになります。慶実会では10月1日、城東・湘南台・川越の訪問看護ステーションが新規開設しました。『良いご縁がありますように♡』

今月の健康キーワード・・・
季節の変わり目。アレルギー症状の悪化など体調変化に注意しましょう。

10月